



はすね

令和7年 11月28日
板橋区立蓮根小学校
12月号

教育目標： **やさしく** **かしく** **たくましく**
蓮根学びのエリア（志村三中 志村六小 蓮根二小 蓮根小）



プレ70周年第2章 ～未来につなぐ～ 校長

来年70周年を迎える蓮根小。11月1日は「プレ周年行事」と位置付け、開校69周年蓮根小運動会を実施しました。多くの励ましに支えられ実施することができました。保護者・地域の皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

「未来につなぐ」展覧会に

第2章は展覧会。今回のテーマは「未来につなぐ 展覧会 ぐるぐるめぐる」です。「70周年への架け橋」をコンセプトに、個性があふれる作品が「未来へ」と広がるイメージとともに、「ぐるぐるまわる」躍動感、個性や作品が響き合い、お互いを高め合う気持ちを育む姿を表現しています。個人作品や、学年やニコハス班（縦割り）の共同製作にも取り組んでいます。

運動会同様、子どもたちが表現する世界に、温かい励ましの言葉を掛けていただければ幸いです。

「ふれあい月間」から「人権週間」へ

運動会の翌週の全校朝会で、校長より「ふれあい月間」についての話をしました。

その折、本校育成支援アドバイザーである小関哲之先生に登壇いただき、ある話を紹介していただきました。ご紹介します。

「指先の向こうに」

ある日、ようやく来たバスに乗ったときのことでした。バスにはランドセルを背負った小学校の高学年らしい女の子が乗っていました。その女の子は、二つ目のバス停の手前でボタンを押してバスから降りるようでした。

やがて、バス停につきドアが開くと女の子は元気に降りて歩いていきました。私は何気なく女の子を目で追っていました。そのバス停で持っていた人は一人でした。そのお客さんがバスに乗り終わると運転手さんは入口のドアを閉めました。と、その時です。降りてバスの横を歩いていたはずの女の子が閉まりかけた入口のドアを手でたたいたのです。

運転手さんは急いでドアを開けました。私は、女の子が降りるバス停を間違えたので、また乗るのかと思いました。すると、女の子は、バスの前の方を指さし、運転手さんに何かを伝えています。

運転手さんはその先の方を見つめうなずいています。私も同じようにそちらに目を向けました。すると、そこで目にしたのは、急ぎ足でバスに向かっているお年寄りの姿でした。お年寄りには、バスに乗る時に何回も女の子にお礼のお言葉をしていました。

私には、女の子の顔が優しく微笑んでいるようにみえました。

実は、女の子は本校の6年児童です。

小関先生が出張の帰りに、偶然その場に居合わせたのです。

その話を聞いて、ぜひ全校児童にも知らせたいと考えました。小関先生に手紙にいただき、11月の全校児童紹介していただきました。

日本では、毎年12月上旬を「人権週間」としています。また、12月10日は、国連が定めた「世界人権デー」です。「ふれあい月間」の取組を通して、相手を思いやる気持ちの輪が、これからも広がることを願っています。

70周年記念キャラクターデザイン

70周年を記念するオリジナルキャラクターのデザインを募集し、児童から148点もの素晴らしい作品が集まりました。

児童・教職員・地域の方々によるコンテストを行いました。投票にご協力いただきありがとうございました。その結果を参考に、最優秀作品と優秀賞を選択します。12月に全校児童に紹介する予定です。